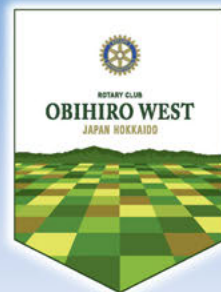


人類に
奉仕する
ロータリー

帯広西ロータリークラブ 第2175回例会 2017.3.23 会報



■RI第2500地区テーマ■

ロータリーのあしたのために、
積極的に行動しよう

■クラブ・テーマ■

ロータリーを分かち合おう

会長報告

IMの出席、お疲れ様でした。普段、真面目な古田会長お休みということで、代行を務めさせていただきます。

昨年、富樫倫太郎の「函館売ります」という小説を読んでいたところ、偶然、「蝦夷地99年貸与」「東大教授、書簡発見」という記事が北海道新聞のトップを飾りました。この記事は、蝦夷地を守っていた会津・庄内藩が資金調達でプロシアに打診をした件でしたが、小説は、実際に外国と「借地契約」をした「ガルトネル事件」をモデルにしたものでした。

「ガルトネル事件」は幕末・維新のどさくさのなか、プロイセンの貿易商人ガルトネルが、蝦夷の開拓は機械を用いた西洋式農法で行うべきだと提言し、三つの政府との間で、函館近郊の借地の許可を得ました。その三つの契約は、最初の江戸幕府は1,500坪、新政府とは7万坪、榎本総裁の時には300万坪、99年間の借地という契約をします。(イメージすると、最初は東京ドームの1/10、次は5倍、最後は200倍)すぐに新政府が榎本総裁から主権を取り戻しますが、ガルトネルは契約の続行を主張します。土地の租借期間99年という、香港、マカオを思いだすと思いますが、この99という数字は、中国の久々に掛けたもので、「永遠」と同意語です。新設された開拓使は、契約期間が長く、この土地を足掛かりに蝦夷地が植民地化されるおそれもあると問題視しました。さらに、ガルトネル側と周辺住民とのトラブルも絶えなかったため、この契約そのものを破棄し、違約金として、破格の62,500両を支払うことで決着します。(明治初期なので現在に換算すると、約31億)榎本総裁は、お金で領土を売り払ったという歴史に汚点を残すところだったのでしょうか。契約が破棄されたことで、一番ホッとしたのは、榎本総裁だったのかも知れません。

この時に引き渡された財産目録によると、開墾地にはアルファルファやクローバー等の牧草、リンゴやサクランボ、セイヨウナシなどの果樹や、牛、馬、豚などの家畜がヨーロッパから導入されていました。この地はその後「七重官園」とされ、現在の農業試験場のような役割をします。函館近郊というのは現在の七飯町

山本範之 副会長



で、この件から「西洋農業発祥の地」となっています。「ガルトネルが植えた樹齢140年を超えるブナの人工林」や「りんご」は、七飯町の特産物として今も引き継がれています。開拓使が判断を誤っていたら、北海道の一部が、ドイツの租借地になっていたかもしれない、一方では、西洋農業を普及してくれた人として評価されている「ガルトネル事件」。皆さんは、この事件、どう思いましたか?以上、会長代行の報告とさせていただきます。

会務報告

谷脇正人 幹事

- ①帯広RC、3月29日(水)の例会は、休会と致します。
帯広西RC、3月30日(木)の例会は、休会と致します。
帯広北RC、3月31日(金)の例会は、休会と致します。
- ②帯広南RC、創立記念夜間例会開催のご案内
日時 4月24日(月)午後6時30分
場所 北海道ホテル
- ③帯広北・帯広東・音更RC、合同例会開催のご案内
日時 4月26日(水)午後6時30分
場所 ホテル日航ノースランド帯広
※尚、帯広東RC、4月25日(火)の繰下げ例会と致します。
帯広北RC、4月28日(金)の繰上げ例会と致します。
- ④帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日時 4月27日(木)午後6時30分
場所 北海道ホテル



ニコニコ献金

披露 平田宗利 会員

山本 範之 副会長

2回目の会長代行です。よろしくお願ひ致します。

鎌田 裕樹 委員長

本日担当例会です。よろしくお願ひします。

金尾 剛 会員

皆さん、お待たせ致しました。3月25日(土)帯広国際オープン致します。今年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

会長 古田 敦則
幹事 谷脇 正人副会長 江口 文隆
副会長 山本 範之会場監督理事 森 房明
プログラム委員理事 河合 敏発行：広報委員会
委員長 伊東 肇 (副)辻田 茂生例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

